

12月9日 JAL本社前に 全国各地から大結集！



2025年12月9日、JAL本社大包围行動に約180本の幟があがった！

支える会

発行責任者
柚木康子

大田区羽田3-3-15
デラモタワー202
TEL.03 (6423) 7878

メール
sasaerukai@lemon.plala.or.jp

ますます広がる
団結を確認！

2025・12・9 JAL本社
大包围行動報告

12月9日、寒さも少し緩んだかに思える中、17時半、歌声の皆さんの合唱が始まり、18時頃からぞくぞくと本社前に支援者の方々が集まり幟旗が林立しました。

18時半、JAL争議団宝地戸百合子事務局長の司会で集会が始まりました。

最初に主催者を代表してJAL争議支援全国ネットワーク共同代表で、茨城の会共同代表の高松義雄さんが挨拶。

「まず松山愛媛の支える会が本日連帯行動を行って、いることを報告する。全国ネットワークが何故できたか？争議は未だ終わっていない、これからだと結集した。一日も早い解決めざし社会的な力を作ってJAL本社、国交省に解決を迫って、全国の力を一つにして闘い抜くために全国ネットワークを結成した。鳥取社長は年末に解雇通知を出しているのか？何故こんな会

社になったのか。解雇撤回、労使正常化の中で安全を作っていく。議員、争議団、支援者、弁護団が一体となって徹底的に闘う！



共同代表の高松義雄さん

次にJAL被解雇者労働組合（JHU）とJAL争議団を代表して山口JHU委員長「15年間、心の片隅に常にひっかかるものがあつた。最近争議団員二人が亡くなったが、本当に悔しい思いだったと思う。JALの安全トラブル、飲酒問題は解雇争議と無関係ではない。このままでは航空会社としてうまくいくはずがない。争議を解決してまともな航空会社となるべきだ。」

国会議員からの挨拶

福田昭夫衆議院議員（立憲民主党）…山口委員長と同郷で、山口委員長を応援したいと参

加している。

日本を代表する航空会社のJALがとんでもないことをしている。許すわけにはいかない！と頑張っている。女性社長が誕生したのでやさしいのでは？と思ったが何かやったのか？ILOが勧告しても行動しない。

人権尊重の世の中で人権を無視する会社は日本を代表する航空会社ではない。解決しない会社には将来はない。社長は指導力を発揮して被解雇者を助ける。最後の最後まで解決にむけ頑張る。

堀川あきこ参議院議員（共産党）…国交委員を担当している。15年経っても年々支援は大きくなり全国からこんなに集まっている。JALはこの声を聴け。解雇の正当性がないうこと、病氣、年齢での解雇は不当であることは証明されている。一人も復帰させない、優先雇用しないことについて正当な理由も言えない。復帰させないことはものという労働者の職場排除が狙いだ。労働者の権利を預かる企業として失格だ。物言う労働者の声を聴かないのは国交省も同じ。

国交省ではパワハラが横行しており告発者の犯人捜しや報復がまかり通っている。硬く連帯して尊厳・権利・安全のために闘い続ける。

ラサール石井参議院議員

(社会民主党) …経営破綻を社員になすりつけ、自分の責任は不問に付した解雇だ。人権侵害15年。悔しい思いは余りある。ILO勧告、労働者の権利を何一つ守らず一人も職場に戻していない意図は再建を口実にものいう人を排除すること。他人ごとではない。パイロット、客室乗務員の使い捨ては私達の安全を犠牲にすることである。安全を支える労働者の権利と暮らしをどう守るか社会全体が考えるべき。働くみなさんの権利の為にしっかりと国会で声を上げていく。

しいことを正そうとしてきた人達が不当解雇された。15年をこえないためにひきつづきパワーアップしていく。

篠田奈保子衆議院議員(立憲民主党) …弁護士として

働く人の権利を守るための裁判などに関わっている。裁判、社会をかえることの厳しさ知り、議員となった。議員になるまで厳しいこともあったが毎年釧路まで来てくれる争議団に元氣ももらってきた。声をあげることにバックラッシュがひどいが、行動することが世の中を変えること。最後まで共に頑張る。

*大石あきこ衆議院議員(れいわ新選組) からのメッ



セージが高橋まゆみ足立区議会議員により代読され、もとむら伸子衆議院議員(共産党) からメッセー

が寄せられたことが紹介されました。

全国の支援の仲間からの連帯挨拶…

横田厚さん(不当解雇と闘う日本航空労働者を支える釧路の会) …国労闘争団として長年闘ってきた。敵は被解雇者を目の前にして一杯飲みながらさみろと言っている。国労闘争では30人団員・家族が亡くなった。そういう敵を相手に、争議団は闘争を拡大できない、現状維持で精一杯。支援の力はいくらでも大きくできる。3〜4倍の力にして要請書を受けとらない本社に突入しよう。支援の力が大きくなれば必ずできる。JAL争議団を支えるのは支援者。勝利するのも支援者の力にかかっていることをお互いが認識して一層の闘いを作っていこう。

河井好一さん(JAL争議団を支援する熊谷の会) …経営破綻で年末に165人

の解雇。空の安全を守ってきた社員を年末に解雇は正月の団欒なくすことで労働者として許せない。メーデーや駅でJAL争議のことを訴えてきた。職場のかなめの物言う労働者の解雇は空の安全に逆行する。JRもそう。尼崎脱線事故のよう

な大きな事故がおこる前に解雇争議を終わらせなければ事故の責任は会社の責任だ。民間機の軍事利用は民間人が犠牲になる、もつての他。当たり前のことが言える会社にしていただいた。解決するまで応援する。

宮垣 忠さん(JAL争議を支援するかながわ連絡会) …

11月15日に公共交通の安全・平和・人権を考える集会を開催。大量の新規採用をしながら被解雇者を一人も職場に戻さない理不尽さや、現役客室乗務員が職場で声をあげられない実態が報告された。今後も支援の輪を広げていく。

堀 孝信さん(静岡県共闘) …

静岡から6名参加。放漫経営破綻後15年、JAL争議団は敢然と闘っている。ユ

ニオンもパワハラを受けた女性労働者の問題で団交を行い、パワハラ上司の処分と謝罪求めているがいきなり事業閉鎖してきた。組合つぶしをゆるさない闘いを開始する。共に連帯して理不尽な社会状況をかえていく。

尾崎俊介さん(不当解雇と闘う日本航空労働者を支える愛知の会) …陸、海、空、港湾メンバーで月一回宣伝している。会社の都合で破綻しその責任を押しつけ15年放置していることは労働者として許せない。破綻から3年経たず株式再上場し大幅利益をあげ、職場に戻すことは可能だったのに戻さないのは労働組合潰しだと言わざるを得ない。交通運輸労働者は国民の生活を支えると同時に国民の幸せを運ぶ職業だ。解雇された165名の幸せをうばい利益優先の経営でJALの労働者、国民の安全・安心を守るのか? 全面解決にむけJALは改めて一歩踏み出せ。愛知の会は納得いく解決に向け支えていく。

駒井高之さん(JAL闘争を支える京都の会)・・・毎月1回稲盛元会長の自宅のそばの伏見大手筋商店街で労組、市民、団体で宣伝をしている。この争議はJALだけでなく労働者全体の問題。JALを戦争体制にとりこみたい政府支配層がものいう労働者を排除した面もある。都労委命令JAL事件は不当労働行為救済命令以外ありえない。全国の支援労働者と連帯して勝利勝ち取るまで頑張る。

松岡嘉正さん(JAL闘争を支援する徳島の会)・・・娘と参加。徳島の会はナショナルセンターを超えて労組・弁護士で2013年結成。署名はがきや駅頭宣伝などでJALの不当性を明らかにしてきた。大晦日の日に165人を解雇したということは信じがたい。解雇しつつ乗務員を採用し続け被解雇者を一人も復職させていないことは、まさしく目的は組合活動の排除、ものいう労働者の排除だ。まっとうな労組を良しとしない企業がいくつ存在し、その最たる会社はJALだが、社

会において労働者の権利がおりやかされている。逆に企業の都合にあわせた労働組合は社会的影響、力量が低下している。経営からたたかれています。立ち向かい不当解雇撤回の闘いを続けているのがJHU。徳島の会は不当解雇撤回するため全国の中で連帯して完全勝利まで共に闘うことを誓う。

道下哲也さん(北九州争議団共闘会議)・・・九州でただ一人の争議団員を支援して小倉駅で月一回宣伝行動をしている。何とかできないかということ、北九州争議団共闘会議に入って貰った。鳥取社長は福岡出身。「神はあなたにしかできない使命を与えている」という教育ベースの学校出身。解雇争議はあなたにしか解決できない、是非頑張ってください。鳥取社長は客室乗務員だったのだから解雇されることはどういうことかわかるはず。この争議を解決に持つて行ってほしい。集まった支援者と共に頑張る。

田久祐一郎さん(小名浜地区労)・・・初めて参加。先月

争議団が来訪、初めて生の声を聴き、労働者として不当労働行為は許さないと今日の参加を決めた。15年闘っている、長い時間だ。私達も2011年原発事故が起これ、14年争議行為を行っている。争議団と同じ時間闘っている。解決まで共に闘い勝利したい。

諏訪哲也さん(国労高崎地区本部)・・・2年半前からJR東日本では走行中分離事故が半年で2回おこった。職場では7割が労組に無所属。国労が少ない。ものいう労働組合の労働者がいないことが背景要因にある。会社のおごり・たかぶり・油断が事故につながっている。JALもものいう労働者を排除した中で、事故トラブルが多く発生している。職場の中にもものいう労働者がいることが安全確保するためのチェック機能だ。この闘いはまだまだ広がる。この状況を見てよく考えJALは解決すべき。一日も早い勝利をめざし共に闘う。

*ご発言のお時間はありませんでしたが、堀内 勉さん(米沢地区平和運動センター)、

杉山あつしさん(静岡県議会議員)もご参加いただきました。



争議団決意表明・・・近村一也 乗員団長

JALは解雇時の人員配置数を未だに明らかにしていない。こんなことがまかり

訃報

2025年9月12日にパイロット争議団の長澤利一さん、11月14日に客乗争議団の石賀田鶴子さんが逝去されました。勝利を見ずして亡くなられ、いかに悔しい思いをされていたことかと思ひます。彼らの遺志に報いるためにも、JAL闘争を支える会は一層支援をしてまいります。



通することは労働者として主権者国民として許せない。日本航空の体質を改めさせ、人権侵害を是正させ、安全運航を確立させ、誰もが安心して暮らせる社会をめざして皆さんと一緒に闘う！

最後に鈴木圭子客乗争議団長がシユプレヒコールと団結頑張ろうをおこない、うたごえの大熊啓さんのギター伴奏で『がんばろう』の歌で締めくくられました！参加者・団体数は昨年を大幅に上回る数となり、幟の数は約180本！

更なる団結の広がりを実感した集会となりました！皆様のご参加本当に有難うございました！

12・9連帯行動@愛媛 15年前の怒りを忘れない！

12月9日17時25分～18時30分、本社大包围行動と連帯して愛媛の支援者と小春日和の松山市駅前で怒りの宣伝行動を行いました。用意したテッシュビラは不足するほどでした。

急な呼びかけにも関わらず、金曜行動の仲間、新社会党市議会議員、ユニオンの仲間、新婦人、四国トレインズなど多くの方に参加して頂きました！



11月27日 品川統一宣伝行動

JAL不当解雇撤回闘争支援東京連絡会主催の第三回統一宣伝行動が11月27日18時半～約1時間JR品川駅港南口で行われました。毎月それぞれの地域で宣伝活動を行っている支援者・団体が品川に結集し、解雇事件の不当性、JAL争議の早期解決を訴えました。毎回参加者・団体が増えています。仕事帰りの労働者らが多く行きかう場所ですが、足を止めてじつと訴えを聞いてくださる方、聞いた後に拍手をしてくださる方などがいらつしやり元氣をもらいました。



女性署名、 5612筆を提出

12月5日、呼びかけ人とJAL争議団6名で女性署名をJAL本社へ提出に行きました。

JAL本社の受付で担当者に取り次を求めたところやつと総務部が出てきましたが、中では受け取れない(！)外でとなり、2階のビル外側で5612筆の署名を渡し、解決を求める主旨を伝えました。10月から始めた署名ですが2か月余でこれだけの署名を集めることが出来ました。



神奈川連絡会の 取り組み

11月15日、JAL争議を支援するかながわ連絡会主催で「公共交通機関の安全・平和・人権を考える集会」が横浜市内で開催されました。集会には飛行機、鉄道、船舶など公共交通の安全をめざし取り組んでいる市民・労組が参加。各団体から安全や平和が脅かされている

状況が報告されました。JHU・争議団からは戦争の影響で一部の空域に飛行ルートが集中し、空の安全が脅かされていること、解雇争議の不当性を訴え、JHU組合員の現役客室乗務員は現場の過密労働、賃金体系の改悪を報告し、JAL争議の全面解決で、安全と人権が守られる職場にしていきたいと訴えました。

画期的な都労委命令出される！

1月15日10時東京都労働委員会から命令が交付されました。JAL事件：団体交渉拒否事件について一部救済命令が出されました。解雇にいたった人員削減数について議題とした交渉について具体的な数字などを会社が答えなかったことは不当労働行為として認定しました。

国土交通省団交拒否事件：国交省は労組法的使用者ではないと判断しましたが、人員削減を含む更生計画の策定や遂行の過程に一定の影響を及ぼしたことは否定できないと認定しました。今後につながる画期的な命令です！詳細は添付(同封)の声明をご覧ください。命令はHPのトップページからご覧になれます。

2月13日決起集会に多数のご参加をお願いします！

今回の命令を受け、解決に向けた運動を確認する決起集会です！お誘いあわせの上、多くの皆様のご参加をお願いします！詳細は添付(同封)の案内ビラをご覧ください。